



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年2月5日

上場会社名 OKK（大阪機工株式会社） 上場取引所 東・大
 コード番号 6205 URL <http://www.okk.co.jp>
 代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）井関 博文
 問合せ先責任者 （役職名）取締役執行役員管理本部長 （氏名）高原 宏幸 TEL 072-771-1158
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

（百万円未満切捨て）

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	18,040	2.6	1,000	38.0	1,115	138.3	710	59.4
24年3月期第3四半期	17,590	41.4	724	—	468	—	446	—

（注）包括利益 25年3月期第3四半期 649百万円（△45.0%） 24年3月期第3四半期 1,180百万円（-％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	8.99	—
24年3月期第3四半期	5.64	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	44,350	18,865	42.5
24年3月期	45,336	18,216	40.2

（参考）自己資本 25年3月期第3四半期 18,865百万円 24年3月期 18,216百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期（予想）	—	—	—	2.00	2.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,000	3.8	1,400	25.5	1,100	32.1	900	△10.7	11.38

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名） 除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 【添付資料】P.3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期3Q	81,465,568株	24年3月期	81,465,568株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	2,373,250株	24年3月期	2,367,338株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期3Q	79,094,795株	24年3月期3Q	79,101,398株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P 2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P 2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	P 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P 3
(4) 追加情報	P 3
3. 四半期連結財務諸表	P 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P 6
(3) 継続企業の前提に関する注記	P 8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における経済情勢は、欧州の金融債務危機に加え、中国を中心とした新興国の減速や米国の財政問題等により、景気減速に広がりが見られ、わが国経済においても、かかる海外経済の減速を反映して、内外需とも弱含みで推移しました。

このような状況下、当社グループは「お客様の信頼に応える」という経営理念の下、2年後の創業100周年をにらんで、諸施策を実行し業績向上に取り組みました。

工作機械部門につきましては、主力の新VMシリーズを中心に当社の特長である重切削能力を前面に打ち出した新機種を開発し、9月にシカゴで開催されたIMTS(International Manufacturing Technology Show)や11月に東京で開催されたJIMTOF(JAPAN INTERNATIONAL MACHINE TOOL FAIR)に出展すると共に、国内外での拡販に務めました。さらに、現場カイゼンによる生産効率の向上、海外調達比率のアップなどにより一層のコストダウンに取り組み、収益力の強化に努めました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、18,040百万円(前年同期比2.6%増)となり、損益面につきましては、営業利益は1,000百万円(前年同期比38.0%増)、経常利益は1,115百万円(前年同期比138.3%増)、四半期純利益は710百万円(前年同期比59.4%増)となりました。

なお、第1四半期連結会計期間より、在外子会社の収益及び費用の換算方法の変更を行ったため、前年同四半期比較にあたっては、前年同四半期数値について遡及適用後の数値に基づき算出しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は44,350百万円となり、前連結会計年度末と比較して985百万円の減少となりました。これは主に、現金及び預金の減少1,278百万円、受取手形及び売掛金の減少1,197百万円、投資有価証券の減少114百万円、たな卸資産の増加1,651百万円などによるものであります。

負債は25,484百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,634百万円の減少となりました。これは主に、借入金の減少965百万円、支払手形及び買掛金の減少796百万円、退職給付引当金の増加206百万円などによるものであります。

純資産は18,865百万円となり、前連結会計年度末と比較して648百万円の増加となりました。これは主に、利益剰余金の増加710百万円、為替換算調整勘定の増加21百万円、その他有価証券評価差額金の減少83百万円などによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の通期連結業績予想につきましては、現時点においては平成24年5月11日公表いたしました数値から変更ありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

・在外子会社の収益及び費用の換算方法の変更

在外子会社の収益及び費用は、従来、当該在外子会社の決算日の直物為替相場により円貨に換算しておりましたが、第1四半期連結会計期間より、原則的方法である期中平均為替相場により円貨に換算する方法に変更しております。

この変更は、在外子会社の重要性及び近年の急激な為替相場の変動を勘案した結果、在外子会社の収益及び費用の連結財務諸表に占める重要性が増しており、今後もその傾向が見込まれることから、為替相場の変動による期間損益への影響をよりの確に連結財務諸表に反映させるために行ったものであります。

当該会計方針の変更は遡及適用され、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。

これにより、遡及適用を行う前と比べて、前第3四半期連結累計期間の売上高は72百万円、営業利益は69百万円増加し、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ4百万円増加しております。

また、前連結会計年度の期首の純資産に累積的影響額が反映されたことにより、利益剰余金の前期首残高は15百万円減少し、為替換算調整勘定の前期首残高は、同額増加しております。

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

・減価償却方法の変更

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ4百万円増加しております。

（4）追加情報

（退職金制度の変更）

当社は平成24年10月1日付けで、従業員に対する勤労意欲を将来にわたり向上させることを目的として、退職一時金制度を従来の最終給与比例方式から、ポイント制に変更しております。

これに伴い、「退職給付制度間の移行等に関する会計処理」（企業会計基準適用指針第1号 平成14年1月31日）を適用し、当第3四半期連結会計期間において、変更に伴い発生した過去勤務債務259百万円を一括して特別損失に計上しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,963	5,684
受取手形及び売掛金	6,436	5,239
たな卸資産	8,607	10,258
その他	524	451
貸倒引当金	△52	△51
流動資産合計	22,480	21,582
固定資産		
有形固定資産		
土地	15,415	15,418
その他(純額)	4,625	4,567
有形固定資産合計	20,040	19,985
無形固定資産		
投資その他の資産	94	193
投資有価証券	2,333	2,219
その他	404	388
貸倒引当金	△18	△18
投資その他の資産合計	2,720	2,588
固定資産合計	22,855	22,768
資産合計	45,336	44,350
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,645	5,848
短期借入金	6,839	6,859
1年内償還予定の社債	100	—
未払法人税等	47	99
賞与引当金	258	90
製品保証引当金	57	56
その他	1,148	1,178
流動負債合計	15,096	14,131
固定負債		
社債	—	100
長期借入金	3,439	2,453
再評価に係る繰延税金負債	5,261	5,261
退職給付引当金	2,834	3,041
その他	487	496
固定負債合計	12,023	11,353
負債合計	27,119	25,484

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,283	6,283
資本剰余金	1,455	1,455
利益剰余金	1,794	2,505
自己株式	△527	△527
株主資本合計	9,006	9,716
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	368	285
土地再評価差額金	9,023	9,023
為替換算調整勘定	△182	△160
その他の包括利益累計額合計	9,210	9,149
純資産合計	18,216	18,865
負債純資産合計	45,336	44,350

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	17,590	18,040
売上原価	13,644	13,729
売上総利益	3,946	4,310
販売費及び一般管理費	3,221	3,310
営業利益	724	1,000
営業外収益		
受取利息	4	3
受取配当金	39	37
為替差益	—	205
その他	10	7
営業外収益合計	53	253
営業外費用		
支払利息	129	119
為替差損	162	—
その他	18	18
営業外費用合計	309	137
経常利益	468	1,115
特別利益		
有形固定資産売却益	0	1
投資有価証券売却益	112	—
特別利益合計	113	1
特別損失		
退職給付制度改定損	—	259
有形固定資産処分損	2	3
投資有価証券評価損	45	—
特別損失合計	47	263
税金等調整前四半期純利益	533	853
法人税、住民税及び事業税	86	160
法人税等調整額	1	△18
法人税等合計	87	142
少数株主損益調整前四半期純利益	446	710
四半期純利益	446	710

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	446	710
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	40	△83
土地再評価差額金	745	—
為替換算調整勘定	△50	21
その他の包括利益合計	734	△61
四半期包括利益	1,180	649
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,180	649
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。